



## 1年の振り返りを・・・

12月に入り、今年も残すところ1カ月となりました。昔から日本では12月を師走(しわす)と呼びます。師走とは、師(お寺のお坊さん)が経をあげるために忙しく走り回る姿から発生したという説が有名です。しかし、忙しく走り回るのは、お坊さんだけではありません。「大掃除」「年賀状作り」「お正月の準備」など、誰もが忙しくなるのがこの時期です。また、日暮れが早くなるのも、この時期です。年末に向かって気ぜわしくなる季節ですが、そんなときだからこそ気持ちにゆとりを持ち、落ち着いて行動するよう心がけたいですね。

2023年最後の月、今年1年を振り返ってみて、お子様の成長の足跡を整理してみるのもいいのではないのでしょうか。

## いいこと紹介

— 登校中にゴミ拾いをしています —

新垣たくみさん、あさひさんは、登校中にゴミ拾いをしています。きっかけは、登下校の通学路にゴミが落ちているの見てきれいにしたいと思う気持ちから始めたそうです。夏休み明けの2学期から始めた活動も、もう3カ月になりました。ゴミ拾いをしてきれいになった通学路を見るとうれしくなるそうです。ゴミがなくきれいな街になってほしいと今後も続けたいとのことでした。



ゴミ拾いを続けている新垣あさひさん・たくみさん

## 島尻地区音楽発表会

12月1日(金)に佐敷のシュガーホールにおいて島尻地区音楽発表会が開催されました。本校からは6年生が代表として出場しました。各校とも、さすが代表といえるような素晴らしい歌声や演奏でした。本校児童もこの日に向けて練習してきたかいがあり、素晴らしい歌声を披露していました。結果は・・・、後日発表になりますが、自分たちの力を十分発揮できたので満足いく発表会になったのではないのでしょうか。6年生のみなさん、おつかれさまでした。



12月6日(水)は「弁当の日」です。  
よろしくお祈りします。



12月7日(木)はピンクデー

## 飼育園の改築 — 広く、高くなりました —

この度本校CS委員の津波古充仁さんの協力で飼育園の柵を高くしてもらいました。これまで柵が低く、幾度となく脱走を企てていた「リク」でしたが、柵を高くするのに合わせ飼育園を広くしてもらったことで、これまで以上にふれあえる満足できる飼育園になったと思います。

柵に使った丸太は東部電気さんから提供していただきました。ありがとうございました。



## 学校のあたりまえ — 私服って必要ですか? —

大里北小学校では、卒業式、入学式はもちろんですが学期ごとの始業式、終業式も制服を着用させています。式に臨む心構えとして当たり前だと思っていました。しかし、よく調べてみると、何とこれは沖縄だけの風習らしいです。当たり前と思い何気なく着用させていましたが、他県から来た人にとっては違和感があったかもしれません。しかしこれって本当に必要でしょうか？成長著しい子どもたちは、来年にはもう着れなくなってしまいます。年に数回の着用のために、毎年のように購入するのは経済的に負担は大きいですね。

そこで、本校では学期ごとの始業式、終業式の制服の着用を見直すことにしました。制服を着用する必要はありません。もちろん、ご家庭の方針で着用しても構いません。2学期の終業式より普段着のままの参加を可としますのでよろしくお願いいたします。

## ご意見箱より

○学校だより 16号で、**お弁当の日について**意見がありましたが、その回答についての意見になります。

子供たちも楽しみにしている行事という事は重々承知しておりますが、学校から出される課題において保護者の負担が増えてきている中お弁当作りはかなりの負担になっていると思います。

食育等の観点からということでお弁当の日が設けられてると文章には書いていましたが、実際のところ給食費滞納が問題になりこの取り組みが始まったと認識しております。

根本的な問題が給食費の滞納であれば、保護者への説明としては食育ではなく、給食費の滞納により給食費の予算が足りてないため負担を強いられるが、保護者へのご協力願いと云う事でしょうか？とした説明が必要だと感じます。(※根本的な問題が濁されていると感じています。)

また、第14号で「自分で作るお弁当の日」が目的だったのも初めて知りました。

そうなること、お弁当を作れるようになるまで指導や練習が必要です。色んな家庭があるのはご存知だと思いますが、これはかなりの負担になります。であれば、お弁当の日なので。と保護者に丸投げするのではなく、学校でもお弁当を作れるように子供達に教えて頂くことは出来ないのでしょうか？子供達がお弁当を楽しみにしているのは十分わかります、実際にお弁当を見て喜んでる姿は嬉しい気持ちになります。それゆえにお弁当の日負担だな、と保護者が声をあげづらい状況にあると思います。しかし保護者の負担が増え疲れきってしまえば本末転倒です。お弁当の日を設けるのであれば説明も不十分ですし、それなりの配慮をお願いします。

アンケートをとって、どのくらいの家庭が負担に感じているか、改善点等の意見を募りその中で折り合いをつけた方がよろしいかと思っておりますがいかがでしょうか。

追記

弁当の日を否定している意見ではなく、保護者も子供達も楽しめるような取り組み方を改めて見直してほしい気持ちが本音です。

南城市「弁当の日」の主催は市教育委員会であり、学校単独ではなく南城市全体の取組です。南城市において「弁当の日」がスタートした経緯は、ご指摘の通り給食費の滞納問題から始まったところもあります。しかし、長年継続している中でそのねらいも変わっており、現在のねらいは14号に記載した通りです。10月13日配信の(「弁当の日」の実施について)でご確認ください。

食育については学校教育の中でも行いますが、その育成の中心は家庭教育ではないでしょうか。「自分で作るお弁当の日」を紹介したのは、あくまでも先進地域の事例であり、強要するものではありません。ご家庭の状況に応じて対応されたいと思います。

○現在学校はメールで配信をしていますが大里中学校みたいに**ライン配信も出来ないでしょうか？**欠席届けも時間気にせず出来るし朝の忙しい時間 先生方の電話対応の負担軽減にもなると思います。

次年度以降検討 お願いしたいです。

現在、メーリングシステムと比べてどのようなメリットがあるのか調べています。ライン配信の方にメリットが大きいようであれば、次年度以降の導入も考えます。

## ご意見はこちらから！

校長直通メールです。お気軽にお寄せください。

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd8bgdNV4cqoRjjwwkQpEn7j2ok0S-b\\_vrWoKZx1qrZLLmd6A/viewform](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd8bgdNV4cqoRjjwwkQpEn7j2ok0S-b_vrWoKZx1qrZLLmd6A/viewform)

